

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

369号

2021年11月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

文在寅政権の任期6ヶ月、ピョンヤン市民15万人との約束履行は？

2018年9月19日、文在寅大統領は金正恩委員長とともに5・1競技場で開催された集団体操と芸術公演を観覧し、金委員長の紹介で文大統領は15万人のピョンヤン市民の前で短い歴史的な演説を行いました。その中で私が印象深く記憶しているのは次の文言です。「我々は5千年をともに暮らし、70年を別れて暮らしました。私は今日、この場で過去70年の敵対関係を完全に清算し、再び一つになるための平和の大きな絵を描くことを提案します。金正恩委員長と私は北と南の8千万同胞の手を固く握りあって新しい祖国を建設します。二人はともに新しい未来に向かって前進します」。文大統領と金委員長は朝鮮半島の厳しい現状を踏まえた会談の末、歴史的な「9・19ピョンヤン共同宣言」に署名した興奮と感動が伝わってくる内容だと感じました。しかし3年経った今日、この約束は守られていません。



▲ピョンヤン市民の前で演説する文大統領

「9・19ピョンヤン共同宣言」から3年と2日がたった今年の9月21日、文大統領は国連の基調演説で朝鮮戦争の「終戦宣言」をあらためて提案しました。今回「3者または4者」と中国の役割にも言及しました。文大統領の国連での「終戦宣言」発言は2018年、2020年に続き今回が3回目です。任期6ヶ月を残す時点での提案に実現性は期待できませんが、文大統領の「朝鮮半島平和プロセス」への思いを込めた最後の訴えでした。しかし、米国の反応は前向きなものではありませんでした。「米国は、どのような種類の終戦宣言でも覇権戦略の中心的な軍事手段である在韓米軍駐留の名分を損なう可能性があるという判断により、終戦宣言の推進には積極的ではない(ハンギョレ9/23)」。

一方、朝鮮側の反応は興味深いものでした。まずリ・テソン外務次官が23日、米国に向けて「時期尚早」だとする、次のような談話を発表し

ました。「終戦宣言は現時点では(米国の対朝鮮)敵視政策隠しの煙幕に使われる危険がある。情勢変化で瞬時に紙切れになる。米国の二重基準と敵視政策撤回のみが朝鮮半島の情勢安定と平和保障の最優先課題だ(要旨・朝鮮中央通信9/24)」。

次に、金与正労働党副部長が南に向けて「興味深く好い発想」だとして、次のような談話を発表しました。「閉塞した北南関係の早急な回復を望む南朝鮮各界の雰囲気が強力だと感じた。(個人的な考えと断りながら)公正な相互尊重姿勢が北南間に円滑な疎通をもたらし、連絡事務所再設置・首脳会談などの関係改善に関する建設的な論議が可能だ(要旨・中央日報9/25)」。

文大統領の「終戦宣言」発言に、朝鮮側は米国向けと韓国側に向けて違ったニュアンスの談話を発表しました。その理由は次のように考えられ

ます。▲朝鮮は朝米ハノイ会談決裂後の第8回党大会で並進路線の延長を決め、米国との関係改善は長期戦を覚悟したこと。▲そのために自衛的核・ミサイルなどの計画的軍備増強と、制裁下での経済成長を独力で達成する国家戦略に基づく政策を推進中であり、▲結果、朝米関係に変化が現れ、相次ぐ朝鮮の各種ミサイル実験に対し、国連安保理は追加の制裁決議ができなくなっただけでなく、米国独自の追加制裁も決められない状態で、朝鮮に対して「条件なしの対話」を呼びかける状態が続いています。

韓国の平和統一を願う多くの団体は、対米追従政策放棄、対北対立姿勢の変換、南北共助を訴えて、ソウル光化門広場の米国大使館前でリレーデモを行っています。文大統領が任期中に3年前のピョンヤン15万人市民に約束した、新しい統一祖国の建設のために尽力されることを切に願ってやみません。(鐵)

敵基地攻撃論の危険性と、 平和憲法の大切さを共有する！

10・23反戦平和集会

朝鮮のミサイル発射実験を口実に、岸田首相が敵基地攻撃論について言及する中、「とめよう！戦争への道 めざそう！アジアの平和2021関西のつどい」が10月23日（土）、エルシアター（大阪市中央区）で開かれ、約400名が参加した。

つどいでは、しないさせない戦争協力関西ネットワーク共同代表の中北龍太郎さんが主催者挨拶を行った後、講演①として「日米一体化ではなく、戦争回避の外交を」をテーマに、国際地政学研究所理事長の柳澤協二さんが講演を行った。



▲講演を行う柳澤協二さん

柳澤さんは講演を通じ、最近の米中対立について「もし米中戦争が起これば、米軍は日本にある基地から出撃することになり、日本が標的になる」と述べるとともに、焦点となっている敵基地攻撃論については「相手の基地を完全に叩くことは不可能、必ず報復攻撃が来る」と危険性を指摘しながら「日米軍事一体化の強化ではなく、戦争を回避するための平和外交が重要だ」と主張した。

次に、ペシャワール会をはじめ各団体からの連帯アピールが行われ、続いて講演②として「平和憲法を蝕む政府の愚行—再び戦争の惨禍が」をテーマに、参議院議員の高良鉄美（たから・てつみ）さんがリモートで講演を行った。

高良さんは、戦前から現在に至る沖縄の状況を報告しながら「戦後は米軍が優先され、県民は米軍の活動に支障がない範囲での生活の自由しかなく、本土への復帰後は、日米同盟に支障がない範

囲での生活を強要された」と指摘しながら、「平和憲法があるのに、今、平和憲法の姿が消えている。平和憲法を必ず守ろう」と訴えた。

講演後は、大阪平和人権センター理事長の米田彰男さんが閉会挨拶を行い、つどいは終了した。

こどもまつり、34年目も盛大に！

いややねんせんそう！こどもまつり2021

今年で34回目になる「いややねんせんそう！こどもまつり2021」が10月23日（土）、御幸森第2公園（大阪市生野区）で開催された。

コロナ禍の余波や御幸森小学校の廃校など地域環境の変化で参加状況が心配されたが、ふたを開けると区内のさまざまな地域から、例年以上にたくさんのお子さんたちが集まった。また毎年この行事を楽しみにしている地域の高齢者や、親子連れの参加などもあり、老若男女がつどう盛大なまつりになった。

オープニングのエイサー、アジアハウスのお子さんたちの合唱、久しぶりの紙芝居、子ども自主参加ののど自慢大会など多彩な演目が披露され、随所に盛り上がりを見せる中、最高潮だったのはリンボーダンス。コロナ感染予防に最大限気をつけてもちょっと心配になるほどの長蛇の列ができ、放っておくと何時間でもやりそうなくらい、子どもたちの熱がはじけ飛んだ。



▲リンボーダンスで盛り上がる子どもたち

そして最後のおやじバンドの歌がアップテンポになると、それまで椅子に座っていた高齢者たちが踊りだし、その歳を忘れた元気ぶりは、まつりの終了まで収まらなかった。

地域の人々の元気が集まる場である「いやせん」。平和を願う気持ちをさらに広げながら、来年も再来年も続いていきそうです。

南・海外の青年が史上初となるオンライン共同大会を実施！

韓青中央本部委員長 韓成祐(ハン・ソウウ)

10月2日(土)、6・15日本地域委員会青年学生協議会と6・15南側委員会青年学生本部が主催する「9・19宣言3周年 10・4宣言14周年 南北共同宣言履行のための南・海外青年学生大会」がオンライン上で進行されました。南の青年と海外の青年がオンライン上で共同大会を行うのは歴史上初めての試みでした。

今回の青年学生大会は、6・15委員会が定めた共同行動期間(4・27～10・4)の締めくくりとして行われ、オンラインの同時接続数80名、南側の会場参加者を含めると150名余りの青年学生が参加しました。

主催者挨拶として南側からチョン・ドンソン常任代表、海外側からは李洪潤(イ・ホンユン)共同会長が挨拶を行いました。チョン常任代表は共同行動期間を共にした南・海外すべての青年学生に感謝を述べ、「韓国大統領選挙が近づく中、南北関係改善はより重要になる。外勢の顔色を見るのではなく、対北敵対政策の撤回と南北共同宣言の実践を徹底し、民族自主の道を切り拓かなければならない」と述べ、南・海外青年学生に「行動する愛国青年になろう」と呼びかけました。

李共同会長は今年の活動を振り返りながら、新型コロナウイルスの蔓延状況下でも青年学生の統一機運を高めるための活動を模索し、オンライン共同討論会(6/26)や韓米合同軍事演習中止を求めるソウル・東京同時行動(8/14)を実施したことを高く評価し「今日を契機に新たな闘争へと邁進する決意を高めよう」と語りました。

続けて、南・海外側参加者から発言が行われ、南側からはリ・ジェソン天道教青年会会長と海外側からは韓成祐(ハン・ソウウ)韓青委員長が「共同宣

言履行」「民族自主」をテーマに、それぞれ発言しました。韓委員長は発言を通じて来年が7・4南北共同宣言から50年を迎えることに言及し、「7・4南北共同宣言で示された統一3大原則“自主・平和・民族大団結”の意義を今一度振り返り、民族自主の精神で、これからの運動を創造していく必要がある」と述べました。そのうえで「韓半島の平和を実現するためには統一が必要であり、統一するためには自主を発揮し、外勢の干渉を跳ね除けなければならない。これが今日の情勢から言える歴史的教訓だと考えます」と述べな

がら、「今後も南・海外の青年学生が力をあわせて民族自主の実現、南北共同宣言履行、対北敵視政策撤回に向けて力強く闘っていこう」と訴えました。

青年学生大会の最後には共同決議文が採択され、祖国の平和・統一に向けて南・海外の

青年学生が固く団結して闘っていくことを決意しました。

また、南・海外の青年に共同行動期間の感想などを尋ねるインタビューや、韓国大学生進歩連帯青年芸術グループ“빛나는 청춘(輝く青春)”のノレ公演が行われました。あわせて6・15青年学生協議会が、この間取り組んできた「統一フォトプロジェクト」の完成発表も行われ、南北海外青年学生の写真約2万枚で作られた縦6メートル、横10メートルの巨大統一旗が映像を通じて初披露されました。

大会の様子はYouTubeで公開されており、現在でも視聴可能です。ぜひご覧ください。

자주시보記事：<http://www.jajusibo.com/57108>

YouTube アーカイブ

https://www.youtube.com/watch?v=W01B8D3_MC4



▲オンラインで開かれた南・海外青年学生大会

【投稿】

私論 歴史学習のすすめ！

金昌範(キム・チャンボム)

●「歴史」にまわりつく負のイメージ

16, 7年前のことだ。当時、韓統連生野支部で開催していた「ウリ(私たちの)歴史講座」のピラを、ある韓青時代の先輩に渡すと『まだ、こんな暗いことやってんの?!』と驚いたような反応が返ってきた。生野区内の介護事業所の責任者として、同胞高齢者に献身してきたその先輩の民族心が希薄化していたわけではない。よくよく振り返ってみるとウリ歴史=暗いというイメージは、私自身もかつて抱いたことがあったのだ。

●分断祖国と

日本とのはざままで

私が初めてウリ歴史学習を体験したのは、大学1年時の韓国文化研究会での「近代史」と「渡航史」だった。それら一連の学習会によって、理不尽な日帝植民地支配に対する怒りと、在日同胞一世たちが背負ってきた苦勞に対する共感を持つことができた。ただ一方で悲惨な犠牲と苦勞に彩られた史実から、何か希望的な、未来を明るく感じることもなかった。その後、韓学同、韓青などの組織で、より幅広くウリ歴史を学ぶ機会を得てきたが、それらからは「近代に至るまで、外敵による侵略の危機を乗り越えてきた(それ自体極めて重要な史実であるが)」ということ以外、強く記憶に残るものは近年までなかった。「世界に先駆けて天文台の原型をつくった」とか「世界初で金属活字印刷を生み出した」とか、先進的な出来事も沢山あったが、それらは、どこか点として孤立し、線や面としてつながっていないように思えた。自分の勉強の仕方にも問題があった(または勉強不足)だろうが、当時の学習に関する社会土壌としては、祖国の南北分断により研究者たちの歴史論(歴史評価の基準)までが大きく分かれ、時には対立する場面まで生み出したことが歴史研究、歴史学習を窮屈にさせたように思う。私自身、色んな見解に出くわすたびに、ど



▲韓統連セミナーを通じて
歴史学習の大切さを伝える金昌範副代表委員

こか戸惑いながら、表面上はそれなりに振舞っていたように思う。

●統一時代が築く歴史研究の地平

その意味からすると、2000年の6・15南北共同宣言以降の統一を志向する時代の空気の変化は大きい。特に韓国では、それまで韓国社会ではあまり陽の目を見なかった歴史論や歴史的人物に陽が当たり始めた。『北と同じように思われてはならない』というタブーが薄くなり始めたのだ。それは韓流歴史ドラマの世界でも当てはまり、ブ

ームの先駆けであった「朱蒙(チュモン)」や「大祚榮(テジヨヨ)」などに顕著に見られる。

私にとってもう一つの有益な機会は「愛国論(裴東湖先生著作の私たちの教科書)」との出会いであった。愛国論では「民衆こそが歴史を前進させる主体」であることが強調され、また一部論証されて

いる。実際、この度の韓統連大阪本部主催「ウリ近代史シリーズ(7~9月)」を担当するに際し、都度の歴史の中で民衆がどのような役割を果たしたのかについて、できるだけ洞察してみると、10年前に読んだ同じ本から、その時とは違った新たな気づき=史実を掘り起こすことが一定できた。ここ数年の学習準備の中で愛国論に示されたテーマは、自分の中でばらけていた事柄を線ないし面として繋げる上で大いに助けになった。

●未来を明るくさせるために

ウリ歴史の勉強は即効性がない割に面倒クサイ作業ではある。ただ、目的意識さえ明確であれば昔ほど困難ではなく、深掘すれば、むしろ面白い。何より歴史学習とは過去史の教訓を導き、生きた民衆の熱を受け継ぎ、私たちの未来を明るくさせるためのものである。ましてや歴史の前進を逆行させようと、分断志向、事大主義志向の論者たちが騒ぎ立てている今日、一層その必要性が強まっている。一緒に学んでいきましょう。

【コラム】

訓民正音の年月日

昔、学生だった頃、訓民正音が作られた年は1444年だと習った。しかし、韓国の歴史における訓民正音（ハングル）の制定は1443年（ただし、書籍頒布を基準にするなら1446年）とされている。いずれが正しいのか。結論から言えばどちらも正しいと言える。

訓民正音の創制は世宗25年、癸亥の年の冬のことだった。

「この月、王は自ら諺文二十八字を制した。その字体は古篆体を模倣し、初声・中声・終声に分けて作られ、これらを組み合わせる。漢字と本国の俚語を全て書き記すことができ、文字は簡単だが組み換えは窮まりない。これを訓民正音という（『世宗実録』巻102、世宗25年12月是月条）」

上記の『世宗実録』を見れば、世宗25年の冬に訓民正音が作られたと記されている。つまり1443年のこととなる。

しかし問題はこの『実録』が、当然のことながら当時の陰暦で記録されている点だ。もし現在の陽暦に換算すると、世宗25年12月のおよそ大部分は翌年の1月になってしまう。現在、北では「チョソングルの日」を1月15日に定めている。陽暦を基にして考えた結果、訓民正音の創制を1444年1月のことと考え、15日をもって代表させている。

ちなみに南では「ハングルの日」を10月9日としている。陰暦の世宗28年（1446年）9月上旬の訓民正音例解本の書籍頒布を記念してのことだが、陰暦の9月10日を代表させたうえで陽暦に換算し10月9日としている。

ハングルの成立記念日は何をもって基準とするのか。創制か、書籍頒布か。当時の太陰太陽暦か、現在の太陽暦か。考え方はそれぞれだろう。いつか南北間の学術交流が進めば、この基準を統一す

べく議論が行われるかもしれない。

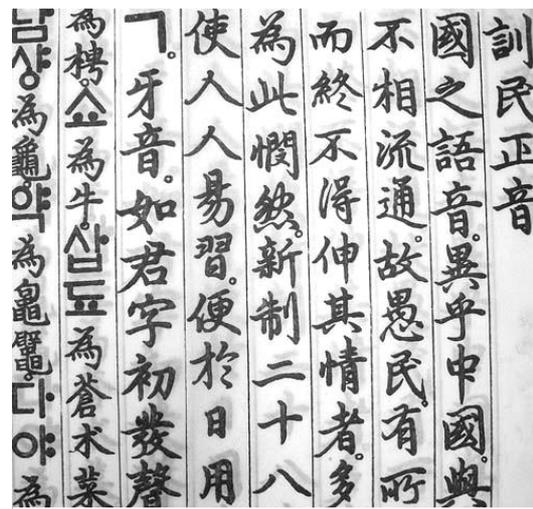
しかし、原史料を確認する際にいちいち陽暦換算しなければならないのは、いささか疲れることだと思う。年末のテレビでよくやっていた「忠臣蔵」も、吉良邸討ち入りは冬12月のことだが、陽暦換算だと1月になる。正月の忠臣蔵は少々気が減入る。

やや余談ながら暦といえば、この訓民正音の創制とほぼ同時期、朝鮮王朝は独自の暦書を制作している。基本的に朝鮮王朝は毎年、中国から暦書を受けていたが、中国と朝鮮の経度の違いや、暦書を受け取って持ち帰るための時間のロスなどの問題があり、自国の暦書を制作する理由があった。

このため世宗代に作られた朝鮮独自の暦書が『七政算内篇』である。中国の元の暦法である『授時暦』の原理の解説書として編纂された。七政算とは木星・火星・土星・金星・水星と日・月の7つの星の運行を指す。

首都であるソウルを基準として冬至・夏至、日出・日没の時刻を計算した暦法であり、当時の国内の暦書はこれを土台に作られた。その後、中国の清の西洋天文学に基づいた『時憲暦』を受容するまで、『七政算』の暦法は2～3世紀の間、用いられた。

世宗の時代、科学の発展に伴う成果は数多ある。その中で、中国の文化も受け入れつつ自国の文字と暦法に関する成果が現れたのは、独特の意義があるのではないだろうか。（好）



▲訓民正音の壁紙



【DVD紹介】

ミナリ

「アメリカ映画もやっとアジアに目を向けたのか」。春に劇場公開された映画だ。

アメリカ映画の「ミナリ（朝鮮語で植物のセリの意味）」は興味深い映画だった。韓国からの移民農業家族を描いている。リー・アイザック・チョン監督の自伝的映画と言われている。80年代のアメリカ農村を描いている。

ハルモニ（お婆さん）役が今年度のアカデミー賞の助演女優賞を受賞した。この映画は6部門にノミネートされていた。このハルモニ役の演技が素晴らしかった。片膝たてて、花札をするシーンがあるが、妙にリアルだった。

料理が出来ないこのハルモニは少女、若い頃は生活に追われ、苦勞して料理も覚えることが出来なかったのだろう。そのような生活史を伺えるように描かれていた。

大農場の夢を抱き、カルフォルニア州からアーカンソー州に家族で引っ越してきた一家。錆びついたトレーラーハウスを見て、子どもたちや母親は落胆する。水もない。父親は懸命に井戸を掘るが、なかなか水源は見つからない。こういう日常生活が淡々と描かれている。こういう映画は今までのアメリカ映画にはなかったのではないか。大がかりなロケもアクション場面もない。ただ広い大地だけだ。アメリカ人の土着の宗教観も描かれ、

興味深かった。

韓国移民の心情も繊細に描かれている。夫婦の愛情と葛藤、子どもたちの両親に対する感情、孫たちの祖母への態度。欧米の家庭にはない、風習と生活感情も描かれていた。

夫婦は生活のために孵卵場（ヒナを選別する）で働くが、アジア人の勤勉さ、忍耐強さも描かれ好感が持てる。

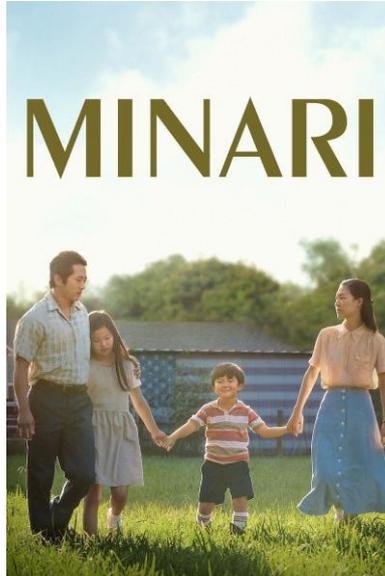
映画は淡々と孵卵場、広大な農場での作付け作業、井戸掘り、そして子どもたちの生活なども描かれる。困難な生活の中での夫婦の葛藤も描かれる。

題名にもなったセリが重要なテーマだ。「水さえあれば生育する」「近隣の商店で高値で売れる」未来の展望がある。それまでの孵卵場での屈辱的な労働。オスのヒナは肉もまずく、卵も産まないために廃棄される。自分たち

の境遇と重ね合わせて、夫婦の苦悶は続く。そして愛情も途切れ、家庭は崩壊へとすすむ。

しかし、最後のあのシーン。衝撃的な出来事で夫婦仲が悪かった家族が劇的に変わり、未来へと歩みだす。この余韻を残したラストの描き方が素晴らしかった。

アメリカ映画も変わった。アジアへの関心が強まったのか。アジアの人々の繊細な感情が、描けるようになった（中山茂）



◆◆行事案内◆◆

韓国大統領選挙を考える集い

日時：11月7日（日）午後1時30分 受付／午後2時 開会
 場所：KCC会館5階ホール（地下鉄今里駅2番出口から徒歩7分）
 内容：講演：韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢
 講師：金昌五 韓統連大阪本部副代表委員
 解説：候補者たちの素顔と選挙公約
 案内：選挙人登録と投票の方法
 参加費：800円（青年学生500円）
 主催：韓統連大阪本部 TEL；090-3822-5723（崔）

